

## 集落で暮らせる仕組み作り

【類 型】 作業受託 + 水稲

【組 織 名】 農事組合法人大正中津川（令和4年2月設立）

【所 在】 高知県高岡郡四万十町大正中津川

【農業地域類型】 山間農業地域

【構成戸数・人数】 4人

【経営規模（令和7年度実績）】

水稲（普通期） 0.6 ha

作業受託作業 5.9 ha

- ・トラクター作業
- ・田植
- ・防除



川沿いに広がる集落の景色

### 設立の経緯

- 大正中津川農事組合として長年活動してきたが、令和元年から活動の強化と集落の活性化（集落活動センターとの連携、移住者の受入など）のために法人化の検討を始めた。
- 将来の農業プラス林業を視野に入れ、令和4年2月に農事組合法人大正中津川を設立。

### 取組の特徴・効果

- 現在は作業受託が中心。今後徐々に地域の水田(8ha)を集積していく。
- 林業分野(切り枝)の生産・販売も試験的に取組中。
- 中津川集落活動センター「こだま」(平成28年2月開所)と連携して、環境との共生をテーマにした地域づくりを模索している。
- 農地を守る取組から人とのつながりを作り、地域に来る人(Iターンなど)の受け皿としての活動を考えている。

## 【具体的な取組内容】

令和3年10月ビジョン作成

### 大正中津川地区の集落で暮らせる仕組みづくり

**現状**  
大正中津川農事組合  
【機械の共同利用】  
・農家 12戸  
・非農家 14戸

農地9ha  
①相い呼 2人:3.5ha  
②高齢者農地 5.5ha  
③田植・防除作業は共同

連携

「集落活動センターこだま」  
  
・地域の交流の場、食、広報  
・高齢者の見守り活動など...

### 法人化による取り組み

#### ①協業化

- ・兼業農家同士の協力・連携

法人・個人が  
連携して  
9haを管理

#### ②事業

- ・水稲 + 作業受託面積の拡大
- ・林業（切り枝販売 + 林業）
- ・加工・観光・交流活動



#### ③集落活動センター

- ・この集落で暮らせる仕組みづくり  
（高齢者、子供達も）

#### ④移住者（I・Uターン）の受入

- ・住宅改修、お試し住宅制度（月1万円）
- ・地域おこし協力隊の受入



目指す姿

住民が中津川集落で元気に暮らせる  
地域づくりを進める

組織の役割（農地を守る仕組み、I・Uターンの受け皿づくり）



中津川集落活動センターこだま

## 【主な機械・施設】

- ・トラクター 45PS
- ・動力噴霧器
- ・田植機 6条（農事組合から貸与）
- ・コンバイン 5条
- ・乾燥機（組合員から貸与）

## 【課題・今後の取組】

- 立地条件が厳しい山間地域にあるので、地域の皆さんと協力しながら、一歩ずつ取組を進める。
- 計画的な農地の集積と近隣集落との連携を目指す。
- 林業分野の仕事づくりを検討、実践する。
- 地域全体の取組を連動させ、後継者確保と交流人口を増やす。